

かみすげたささのおか

令和5年10月31日
上菅田笹の丘小学校
学校だより 11月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



言語活動とは

副校長 徳永 久美子

約1か月に渡る準備や練習を積み重ねて運動会を迎えました。運動会には、「運動の楽しさを味わうことで運動への意欲を高める」等、大切なねらいがありますが、私は「集団活動を通して、互いのよさを認め合い、よりよい人間関係を育てる」、このねらいが達成できたらよいなと思っています。お子様は、運動会について、ご家庭でどんな出来事や気持ちを語ってでしょうか。学校でも、子どもたちから楽しさや喜び、悔しさや納得のいかなさなど、そんなつぶやきや感想を聞くとともに、自分の目標を振り返る時間をもちたいと思います。



運動会のねらいにもあった「集団活動を通して、互いのよさを認め合い、よりよい人間関係を育てる」につながるコミュニケーションについて、本校の外国語活動・外国語科について紹介しながら考えてみたいと思います。

2020年の学習指導要領改訂に伴い、3・4年生の外国語活動（横浜市では1・2年生から外国語活動があります。）、5・6年生の外国語科が始まりました。3・4年生の外国語活動は、英語の「話すこと」「聞くこと」を取り入れた活動、5・6年生の外国語科は「教科」としての扱いになり、「話すこと」「聞くこと」だけでなく、「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ学習が入っています。どの学年も、『言語活動』を通して英語によるコミュニケーションの力を身に付けることとなります。

さて、この『言語活動』とは、どんな活動だと思われますか？私（たち）が受けた授業でよくあった、決まったフレーズをまねしたり、繰り返し言ったりすること、これは『言語活動』には含まれません。『実際に英語を使って、お互いの考えや気持ちを伝え合うこと』を『言語活動』としています。

本校は、外国語専科の教諭が3年生以上の授業を行い、全学年にAETの先生が関わるようにしています。『言語活動』を充実させるために、色々な仕掛けや工夫をしています。まず、授業のルールとして、「①間違いを楽しむ ②自信をもつ ③とにかく話してみる」があります。間違えてもうまくなくても、「楽しんでコミュニケーションを図ろうとしている子どもを認める」ようにしています。次に、自分の思いや考えを表現できるよう、タブレット端末を活用したり、授業の流れをパターン化したりすることで安心して学習できるようにしています。さらに、「実体験に勝るものはない。外国語や異文化に興味関心をもつきっかけを作る」との信念から、毎年6年生は、韓国やオーストラリアの小学校とオンライン交流をしています。今年度からは、オーストラリアメルボルン州カーネギー小学校との交流を、3年間継続する予定です。

言語（普段使用している日本語も）学習は、話したいとか知りたいとか、理解したいという意欲が学びの元となります。そして、その意欲は『言語活動』につながります。意欲や『言語活動』は、友達の間違いに對し温かく受け入れ、その間違いからも学んでいける学習集団があつてこそだと思います。どの学習においても、その教科や学校行事等の特徴に合わせて、「互いのよさを認め合い、よりよい人間関係を育てる」につなげ、温かい学習集団になるようにしていきたいと改めて思います。



11月からいよいよ移転に向けて本格的に学校職員は動き始めます。10月23日に校舎が完成し、各種機械の使用説明や鍵の受け渡しがありました。新校舎は木の香りがし、窓からの光が気持ちよいです。新校舎での子どもの活気のある姿と元気な声を想像しながら、移転準備を進めてまいります。